

合格体験記 (AO方式入学者選抜)

第 I 項 生活科 学部 人間生活 学科

出身高校名 福山暁の星女子高等学校

- (1) 同志社女子大学を志望校・受験校と決めた理由。

私は「色と人間の心理・行動の関係性」についてとても興味を持っています。奥田紫乃教授の本や論文を読む機会があり、私の学びたいことと一致したため志望しました。将来人々の快適な暮らしに貢献したいと思っていて、そのためには「住」のことだけでなく「衣」「食」にも関心を持ち、幅広い分野を学ぶことが必要だと感じました。同志社女子大学では幅広い分野を学ぶことができるというのも志望理由の一つです。

- (2) AO方式入学者選抜を受けようと思った理由。

私は、思っていることや考えを書いて表したり、口で説明することが苦手でAO入試は視野に入れていませんでした。でも、なりたい自分になるためには苦手なことにも積極的に挑戦しなければいけないと思い、AO入試を受けようと思いました。同志社女子大学を強く志望していて「入学したい」という気持ちでいっぱいだったので、苦手なことでも最後までやり抜くことができました。そういった強い思いを持っているのなら、苦手でも挑戦すべきです。後悔しないと思います。

- (3) AO方式入学者選抜においてアピールした活動、経歴、資格等。

私は英語が好きな教科だったため、主に英語のコンテストや実用英語技能検定、GTECについて、また宗教活動や宗教の授業において、どういったことを導き出したか、どういうものが得られて今の自分に繋がっているのか、様々なことをアピールしました。加えて、中高6年間バドミントン部に所属し、部活動を通してどのように成長したのかも伝えました。

- (4) 出願書類作成や面接で心がけた点。

〔出願書類作成〕

何度も読み返して、何度も書き直すことを心がけました。複数の先生方に添削をしていただきよりよい書類になるように何度も書き直しました。自己アピールでは活動や資格を通して得たことを今後どのように活かしていくのかを明白にすること、志望理由書では同志社女子大学で学びたいという熱意が伝わるように書くことを心がけました。課題レポートはテーマをしっかりと理解した上で、自分の経験を交えながら書きました。

〔面接〕

面接練習を何度も時間をかけて行いました。私は1冊面接ノートを作り、同志社女子大学についてや、面接練習をして得たこと、志望理由や課題レポートを簡潔にまとめたもの、キリスト教に関すること(マリア様や高校での宗教の授業のこと)など、面接に関すること全てを書き出していました。面接当日にその1冊を見れば完璧になるようにしました。本番では、はっきりと笑顔で目を見て話すこと、無言にならずにしっかりと答えることを心がけました。提出書類を何度も読み返してまとめて、頭の中で整理をできるようにしていました。

- (5) 選抜を終えて、受験生のみなさんへのメッセージ。

私はAO入試を受けると決めたのが遅く、書類に取り組む期間が約1か月しかありませんでした。毎日不安と焦りでいっぱいでしたが、周りの人たちが支えて下さり、やり遂げることができました。行き詰まっても自分を信じて諦めずに頑張れば結果はついてきます。高校生活において活動や資格はもちろん勉強も怠らずに何事にも上昇志向を持って過ごすことが大切です。自信を持って最後まで頑張ってください。応援しています。